基本的な卓上旋盤ＭＬ-360の使い方

標準仕様

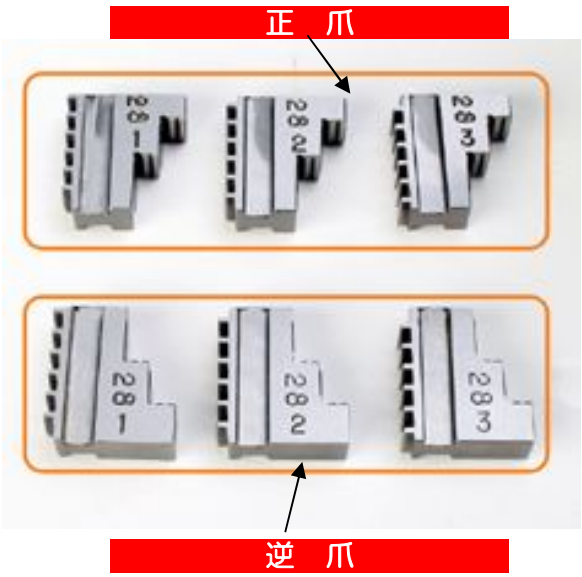
1. ML－360旋盤本体　2. 三爪ユニバーサルチャック　3. 固定センター

4. 自動送り・ネジ切り装置　5. 工具セット

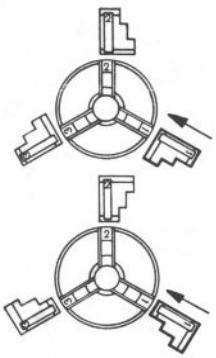
三爪ユニバーサルチャックの取付

主軸取付面及びチャック取付面にゴミ等が付かない様、ウエスなどでふき取って下さい。
その後、チャック前面よりネジ三本を付属のＬ型レンチにて固定します。

付属の①ハンドルを回す事により、三つの爪が連動して動きます。
また、外爪も付属しています。



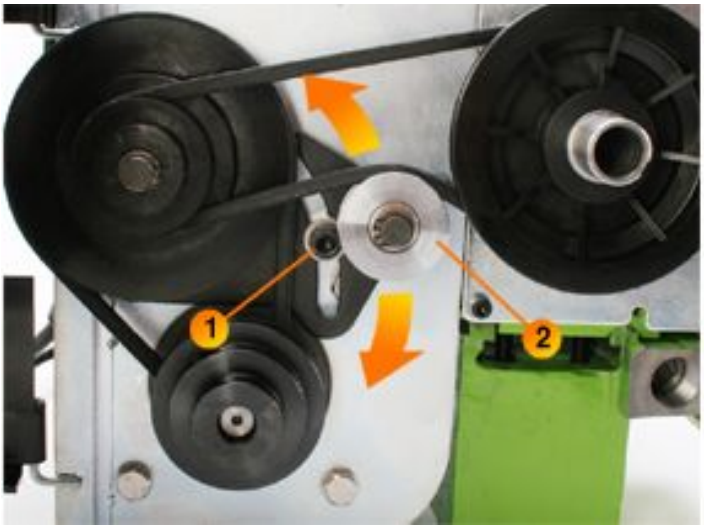
付属の三爪ユニバーサルチャックは、
正爪にて２５ミリまで逆爪にて最大８０ミリまでの加工物をつかむ事が出来ます。
加工物の大きさによって、爪を変更する必要があります。
爪を替える際は、チャックハンドルを回しチャックの外側へ爪を抜きます。
チャック内部にはスクロール(渦巻き)の溝を持った部品があり、その溝へ１．２．３の順番でスクロールの溝に爪の溝がかむ様、ハンドルを回しながらセットします。
各爪には１．２．３と番号が刻印されています。
また、チャック本体にも刻印があり、番号を合せてチャックに装着すればＯＫです。



回転数の変速方法

①のツマミを右へ回すとチャックは正転し、この状態で加工物にバイトを当てると削る事が出来ます。
※左方向へ回すと逆転し、削る事が出来ません。逆転スイッチは主にネジ切り等を行う際、使用します。

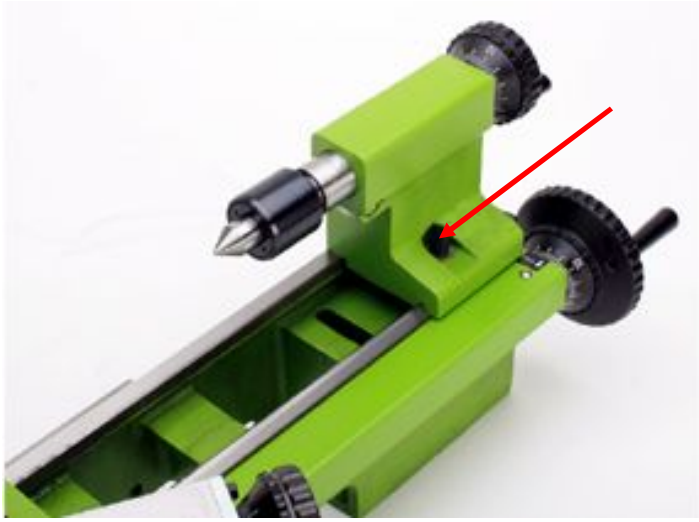
①のツマミを緩め、黒いカバーを開けると、変速装置があります。



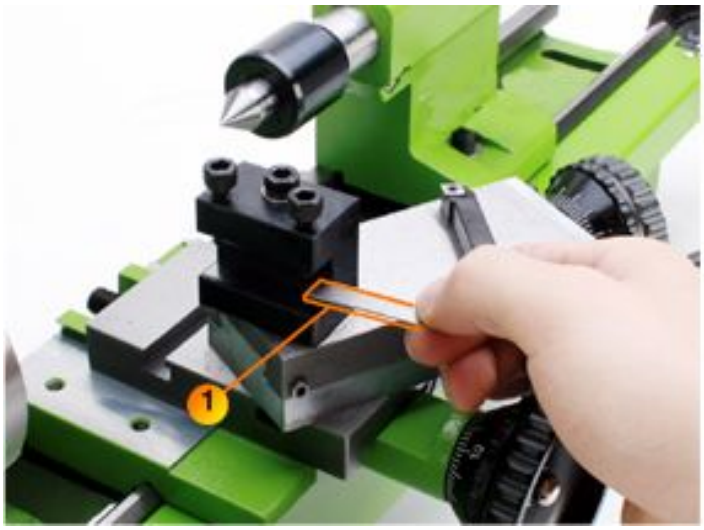
①のネジを付属Ｌ型レンチにて緩め、②のテンションプーリーを下方向へスライドさせるとベルト変速が可能です。ベルトのかけかえにて６段変速出来ます。
回転数変更後、テンションプーリーを張っておきます。

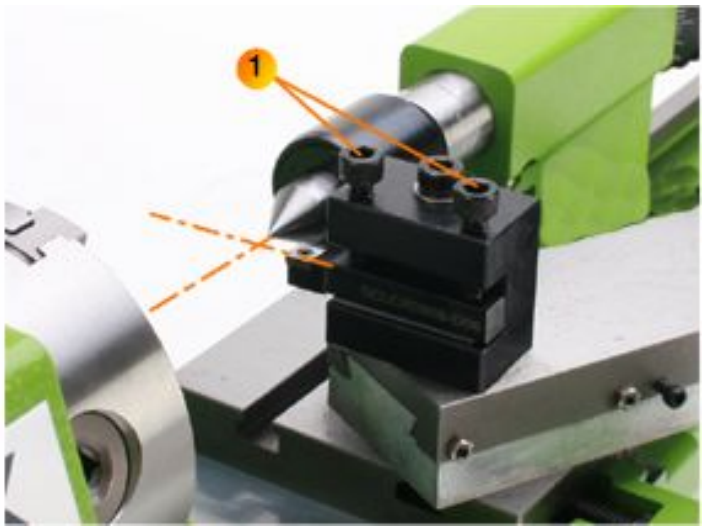
センターの取付

①の心押台の軸をハンドルを回し、スライドさせます。
軸の内部及びセンターのテーパー部をウエス等で綺麗にふき取り、センターを勢い良く入れます。
テーパー同士が合いセットされます。
センターを外す場合は、ハンドルを回し今度は軸を心押台内部へスライドさせ「コツン」と当った所から
もう少し回すと外す事が出来ます。



心押台を移動させるには、矢印のネジをＬ型レンチにて緩め移動させます。





別売の①ＮＯ．３５７５　敷板セットを使用し、バイトの高さを調整します
バイトの高さと、先ほど取付けたセンターの先端が会うよう敷板の厚みを調整し、
刃物台上部のネジ二本をＬ型レンチにてしっかり締めます。

※この項目写真では、オプションの3507回転センターを使用しています。

テーパー削り

①のハンドルを回しスライドさせます。

スライドさせると①のネジが二本見えます。
二本共Ｌ型レンチにて緩めます。

後は、矢印の角度目盛を見ながら角度を合わせネジを締めてノーマル位置へ戻せばセット完了です。

オプションを活用すれば様々な加工に対応します